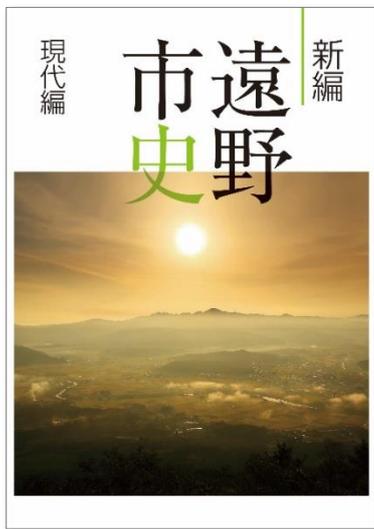


NEWS

『新編遠野市史 現代編』刊行記念式を開催しました



▲『新編遠野市史 現代編』表紙

7月20日、あえりあ遠野で『新編遠野市史 現代編』刊行記念式が行われました。

編さんに携わった遠野市史編さん現代編部会の委員をはじめ、調査にご協力いただいた市民の方々、市役所関係者など約80名が出席し、発刊を祝いました。

今回の現代編を監修した遠野市史編さん現代編部会の今野日出晴（このひではる）部会長は、講演の中で「現代編を読む中で、遠野市の持つ発信力に驚かされる。日常の営みの中に文化がある。これは一朝一夕にはできない。これからどういう遠野を作るか、この現代編を読んで考えることも文化だ」と話されていました。

最後に、芥川賞受賞作家である若竹千佐子さんのエッセイ「遠野へ」が、若竹さんと同じ上郷町出身の小向孝子さんにより朗読されると、会場中が聞き入り、大きな拍手が起きていました。



▲大橋委員長、今野部会長から、市長へ本が手渡されました。



▲会場の様子

現代編の特徴

- ★昭和40年代から平成の終わりまでの約50年間のあゆみを10年ごとに区切りながらまとめました。
- ★オールカラーで写真をたくさん掲載しています。
- ★各町を紹介する【遠野まち物語】、遠野の自然と暮らし、昭和30年代までの遠野と宮守の動きを紹介する【序章】を配し、初めて読む方にもわかりやすいようにしています。
- ★市民からの寄稿による「コラム」には、「サッカー物語」「ジンギスカンと遠野」など遠野ならではの記事が充実しています。
- ★芥川賞受賞作家・若竹千佐子さんのエッセイ「遠野へ」は必読です！感動間違いなしの作品です。

購入方法

次の場所で直接購入できます。
価格は税込み3,000円です。

- 遠野市立博物館
- 市内書店
- 遠野市観光協会
- 遠野風の丘

郵送による購入申し込みも承ります。
詳しくは遠野市HPまたは市史編さん室までお問い合わせください。

ぜひ手にとって読んでみてくださいね！
図書館、各地区センターでも閲覧できますよ。



写真でみる とおの今・昔 ～坂ノ下丁界限～



左の写真は、大正10年(1921)頃の鍋倉神社参道を写したもので、絵葉書として発行されたものです。

下の写真は、同じあたりから令和2年(2021)7月に撮影したものです。

2枚の写真の左側は裁判所です。大正4年(1915)に遠野区裁判所として建てられ、それ以来この場所にあります。当時の裁判所の建物は昭和49年(1974)に移築され、現在は老人憩いの家となっています。

藩政時代、このあたりは城の惣門である「坂ノ下門」があった場所で、現在のあえりあ遠野から市民センターのあたりを坂ノ下丁といい、上級武士の屋敷地でした。

近代になると、江刺県庁、上閉伊郡役所、遠野町役場、遠野小学校などがおかれ、官公庁街となりました。

時代の移り変わりの中で風景は様変わりしましたが、現在も多くの人が行き交う遠野観光の拠点となっています。



昭和10年(1935)8月19日、内閣総理大臣を務めた斎藤実(1858~1936)が鍋倉神社を参拝しました(写真中央)。このとき斎藤は津波復興視察のため釜石へ向かう途中で、遠野小学校で昼食をとりました。

翌年の二・二六事件で暗殺される半年ほど前の貴重な写真です。

斎藤実(さいとう まこと)は、現在の奥州市水沢出身の軍人、政治家で、第30代内閣総理大臣や海軍大臣などを務めました。

市史編さん室では、古い時代の資料や館跡を調査しています。
古文書や古写真をお持ちの方は、ぜひ市史編さん室までご連絡ください。

